

那須 英二 議員 **日本共産党 弥富市議団**

子どもの遊び場、公園のない地域に設置を

問

(1) 前ヶ須地区は、子どもが多い地域にもかかわらず、近くに公園や子ども遊び場がなく、道路で遊ばざるを得ない状況が目につく。

地域に早く公園をという要望があるが市の考えは。

(2) 現存の公園や子どもの遊び場の中には、遊具が古くなり危険な状態のものがあるが遊具の管理はどのようになっているのか。

(3) 老朽化で多額な費用を要する具体的なものは。

緑の基本計画の中で適正配置を計画していきたい

答 開発部長

(1) 前ヶ須周辺地区には、子どもの遊び場、公園が設置されていない。

現状の公園などの配置を踏まえ、今後策定予定の緑

の基本計画で適正配置を計画していきたい。

答 民生部長

(2) 定期的に点検し安全性を確認している。

緊急を要するものから修繕を行い、けがや危険性のある場合は、使用禁止などの措置も行う。

老朽化で多額の修理費を要する遊具や使用に耐えなると判断したものは、撤去も含め検討していく。

答 市長

(3) 公園には、普遍的なものはならない遊具がある。過去から設置のもので利用率がよいものは、老朽化の際に撤去し、新しい遊具を設置すべきという考え方と理解願いたい。

用水路の悪臭対策に浄化剤を

問

(1) 用水路にドラム缶や車椅子が落ちているところがあるが、用水路の管理はどのようにしているのか。

(2) 冬場でもおいが気になるところがあるが対策は。

(3) 以前、三宮議員の質問で、鯛浦の自治会連合会で、バクテリアの粉を各家庭に配布し、年に1回流しなどから流すだけで、水が浄化された、悪臭がなくなったという発言があった。

全市的に、特に悪臭が出る地域は必ず行っていたきたい。

合併浄化槽や単独浄化槽など、まだ下水に接続をしていない家庭や地域に配り悪臭対策をしてはどうか。

もう少し検証に時間をかけたい

答 開発部長

(1) 市街地の用水路、排水路の管理は地元区長からの要望、市民からの通報などの情報により、ヘドロのしゅんせつや排水路の修繕な

どを行っている。

(2) 市全域が低地で自然排水ができないため、流れの悪い箇所や悪臭発生場所など全て把握できない状況で、市民からの通報により悪臭箇所を把握している。

悪臭対策は、流れが悪い箇所の水路底の修繕やヘドロの堆積が多い箇所はしゅんせつで対応している。

答 開発部長

(3) 浄化材の活動は、27年度、鯛浦の7地区で環境浄化材を散布しているので、もう少し検証していきたい。

答 市長

(3) ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曾川下流の水資源公園に一定期間、水路に水を入れ排水を願ひし水の動きを水路の中につくらないとヘドロが解消できないと考える。

悪臭は生活の中での弊害であり応急的な処置はすぐに実施していく。

本市の空き家対策はどうしていくのか

問

(1) 倒壊したままの空き家などが目につくが、状況や建物の存在、また場所などを把握しているか。

(2) そうした建物はどういう処理をされてきたか。

専門家を含めて空き家対策協議会を発足していきたい

答 開発部長

(1) 24年度、区長・区長補助員の協力のもと、空き家の実態調査を実施した。

28年度に再度調査し、データ作成を行う予定である。

(2) 特に危険なものは、所有者に連絡しているが所有者が不明の場合、なかなか空き家対策が進まない状況が今でも続いている。

答 市長

(2) 昨年5月特別措置法が制定され空き家に対し指導、勧告、命令、代執行が市町村単位で実施可能となった。本市も、専門家を含めた空き家対策の協議会を発足していきたい。